

# おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 6 号 (5 月 9 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## Mリーグ 山本に競り勝ち県総体出場決定

5 月 3 日 (金) GW後半初日、Mリーグ第三節山本学園戦がMリーグの聖地山形明正高校Gで行われました。山本と山東はともにCブロック 2 勝のため、この試合に勝った方が県総体出場が決まる。天候は悪くはないが、強い風が吹き付ける。この風を味方につけた方が勝ちか。清野OB会長、後藤報道局長、そして佐竹校長という、3 本柱もかけてくださったこの試合、負けられない戦いです。

前半、コイントスでエンド (場所) を逆 (試合開始のセレモニーのエンドとは逆) に指定し、風上を選んだ山東。前半耐えて後半勝負をかけるチームは前半風下を選ぶこともありますが、ヨシタカ主将は前半勝負の作戦。山本キックオフで試合が始まりましたので、山東が風上を選んだということ<sup>1</sup>。すると、追い風になり、山東が一気に攻め立てる序盤。ファーストチャンス逃すも、セカンドチャンスにて「ちゃっかりコテツ」がこぼれ球 (というカリクのルーズボールを勝手に奪った球) を流し込み、山東早くも先制。開始 5 分くらいの時間。その後も山東優勢。DFとGKの間のスペースをうまく使い、クリロンがGKをヘディングで抜く技ありシュートで追加点を奪う。「**何だ、何だ。調子良すぎじゃあないか**」とベンチで安心してしまいました。しかし、その慢心が後ほど痛いしっぺ返しとなることに。2 点決められ、気落ちするどころか、山本の意気軒高。というか、カウンターでしっかりシュートまで持ち込むことができているので、「やれる、行ける」と皆が感じている模様。前半山東優勢で、3 点目のチャンスはかなりありましたが、フィニッシュの精度を欠き、またサイドを抉ってもラストパスの精度を欠き (+ 中央の選手がマークを外し切れなかったため)、フィニッシュに至れない攻撃が多い。この、前半のアバウトな展開が後半あだとなる。

後半、風上に立った山本優勢。山東は何とか弾き返すも、クリアがことごとくショート。徐々に守備にエネルギーを注がざるを得ず、攻撃に入ったときに迫力がなくなっていく山東。**ボールを奪ってもバタバタして、冷静にパスをつなぐことができない。カウンターに対してカウンターのお返しをするといった、中盤の攻防がほとんどないというか、中盤に人数が割かれていないゴール前の攻防の多い試合展開。**観ている人はハラハラドキドキでしょうけど、何とも稚拙な試合運び。**山本のアタッカー陣はなかなか個の力量があり、攻撃に迫力がある。**そうした悪い流れの中、とうとう失点し、1-2。仮に同点にされたとしても、得失点の関係で山東のブロック 1 位は決定ですが、やはり勝ちたい。よって、同点弾は絶対許したくない、取りあえず (追加点を取るというよりこのまま) 逃げ切りで良いから勝ちたいという心境になってきました。落ちつかない試合展開に、校長もベンチ上の応援席から「落

<sup>1</sup> 両チーム主将を招いての主審のコイントスは、コインで選択権をゲットした方がエンド (場所) を決めことができ、逃した方が前半キックオフの権利を得る、ということになります。

ちつけ、落ちつけ」と叫んでいる。不思議なもので、後ろから両チーム選手の応援をはじめ、さまざまな方の声が響いているのだが、聞き慣れた？顧問の声は別物なのか、それだけははっきり聞こえてくる。そして、「ゲームを落ち着かせろ、監督何やってんだ」という意味にも聞こえてくる。そんな展開の中、山本のアタッカーが抜け出し、GKとの1対1に持ち込まれてしまう。やばいと思った時、「イケメン」（と激励会で皆から紹介された）副主将ヤグチが鋭いスライディングでボールを弾き、事なきを得る。ふーと安堵のため息をつく、ヤグチ立ち上がれない、そして立ち上がってすぐピッチから出され、診に行った選手から×印のサイン。鼻がひん曲がっており、鼻血が止まらないとのこと。鼻骨骨折間違いない。ただでさえイケメンなのに、ますますイケメンになってしまった模様。ともかく、**ヤグチの身を捨てての魂のスライディングにより、失点を免れた山東。ヤグチ、助かったぞ！！** その後も劣勢でしたが何とか凌ぎ切り、結局2-1の辛勝。勝つには勝ちましたが、課題の多すぎる試合となりました。

ともかくも、県総体の切符をゲットしました。ここ数年、シード校としてMリーグを戦っていなかったものですから、県総体に出場できることを当たり前感じてしまいましたが、今年の実験により、出場チームはやはり地区の代表なのだ、という思いを深くしました。Mリーグの応援ありがとうございました。そして、素晴らしいピッチを提供して下さいました明正のスタッフ選手の皆さまありがとうございました。県総体でも頑張ります。

次は、県総体行きが決まっているチーム同士で地区総体を行います。初戦、山形の猛る虎、東海大山形<sup>2</sup>です。応援よろしくをお願いします。

**5月11日（土）地区総体 VS東海大山形 @落合スポセン南 12：40～**

**それに勝つと**

**5月12日（日）地区総体準決勝VS山形中央と明新館の勝者@落合スポセン北 9：30～**

**【ある方から褒められました】**

そう言えば、ある方から褒められ、そしてその際、「部報に書きますから見て下さい」と言ったのに、掲載を忘れていました。Mリーグ第一節山形学院戦、ご存知のように、雪上サッカーとなりました。確認していませんが、山東の選手全員は、芝の際やピッチコンディションの悪い時に使う「取り換え式（シューズのスタッド＝ポイントが交換でき、スタッドの数が少なく滑りにくいもの）」のシューズを履いたのでしょう。滑ってバランスを崩す相手選手とは、グリップ（地面をつかむ力）が違いました。それを観ていた、前山南監督にして、現長井高校陸上部！顧問のS先生が「山東のプロフェッショナルリズムの勝利でしたね」と褒めて下さいました。こちらから、シューズのことを言ったわけではないのに、やはり見ている人は見ているんだな～、とうれしく感動いたしました。S先生、はやくサッカー界に戻ってきて下さいね。

<sup>2</sup> 一応、分かる方だけにお伝えしますが、かつての名プロレスラー、「インドの狂った虎」タイガー・ジェット・シンにちなんで呼んでみました。